

令和 7 年度 研究部事業報告用紙

特別活動

部

(1) 経過報告

	月 日	曜日	内 容	会 場
1	4月28日	月	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
2	6月3日	火	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
3	7月3日	木	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
4	7月31日	木	磐周教育研究会集会特別活動部研究講座 ※津波警報により中止	森アリーナ
5	9月25日	木	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
6	12月4日	木	特別活動部小委員会	磐周教育研究所
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(2) 反省及び磐周全体に関する課題と改善策

(各研究部の人数・参加者の研修意欲・研修方法について等、いろいろな視点で振り返りをお願いします。)

今年度は研究講座を開設する予定だったが、津波警報が発令されたため中止となった。その代わりに第3回の地区研を合同開催として研究講座で行う予定だった研修を行った。観音山の指導主事を講師としてお招きし、レクリエーションに関する研修を行っていただいた。特別活動の目的や意義について、レクリエーションの実技講習を通して学ぶことができた。参加した先生方は、笑顔で楽しく学ぶことができたことに満足していただいた様子だった。

地区の研修では、静教研の研修テーマでもある「つながる、ひろがる、特別活動～互いのよさや可能性を発揮し、よりよい生活を築く集団活動を通して～」を受けて、特別活動に位置付けられる行事や実践等の情報交換や共有を行った。各校で取り組んでいる具体的実践や特別活動を行うにあたり日々悩んでいることや課題など活発な話し合いを行うことができた。現在各地区研修で行っている各校の実態把握や情報の共有を今後も継続して行っていく。